

すすかけ9月号

令和7年9月 1日
所沢市立若狭小学校
校長 熊田 奈緒美

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

夏休みを終えて、2学期スタート

毎年夏には、長崎や広島のパワー記念式典や全国戦没者追悼式にて、テレビ画面からではありますが、平和の願いを胸に黙とうをささげています。今年は終戦から80年の節目ということもあり、戦争や平和についての報道が多くされていました。テレビでは数年ぶりに『火垂るの墓』が放送されましたし、書店には戦争に関する本がたくさん平積みされていました。戦争を感覚で理解する人が少なくなる中、平和を希求する想いの継承に不安を感じる声が多く聞かれました。戦火が絶えない世界で、人々の不安が大きくなっているのだと感じます。

子供たちには、かけがえのない一人一人の命や存在を大切にする平和な未来を生きてほしい、それは私たち大人の願いです。様々な人間が集まる学校だからこそ、感情を交わし、対話を繰り返すことを大切に生活させていきます。子供たち自身が平和な世の中を求めて生きる人になるために、学校でできることを考える夏でした。

さて、夏休みが終わり子供たちは学校に戻ってきました。猛暑の中、7月22、23日には5年生が林間学校へ行きました。「みんな仲よく結束して絆を深めよう」というスローガンに向かって臨んだ大きな行事。それぞれの役割についてしっかりと準備をしました。ルールやマナーを守り、協力して行動する力が育ってきています。2学期以降、学んだことを生かし、高学年として活躍してくれることを期待しています。



2学期は、どの学年も大きな行事があります。修学旅行や遠足、校外学習、2校親善体育大会、音楽会、こどもまつり。

子供たちには2学期始業式で「自分の苦手なことにも、まずは挑戦してみよう。これからもっと大きく成長するみなさんだから、挑戦して、失敗して、また挑戦することができるのです。挑戦するみなさんを応援しています。」と話しました。仲間と協力して成し遂げる行事への取り組みが、成長のきっかけになるということはままあります。失敗をすることもあつてしょう。失敗すら成長のきっかけにできるよう、取り組みの過程と振り返りを大切にして、学習を進めていきます。学校で十分に力を発揮できるよう、2学期も引き続きご協力をお願いいたします。